

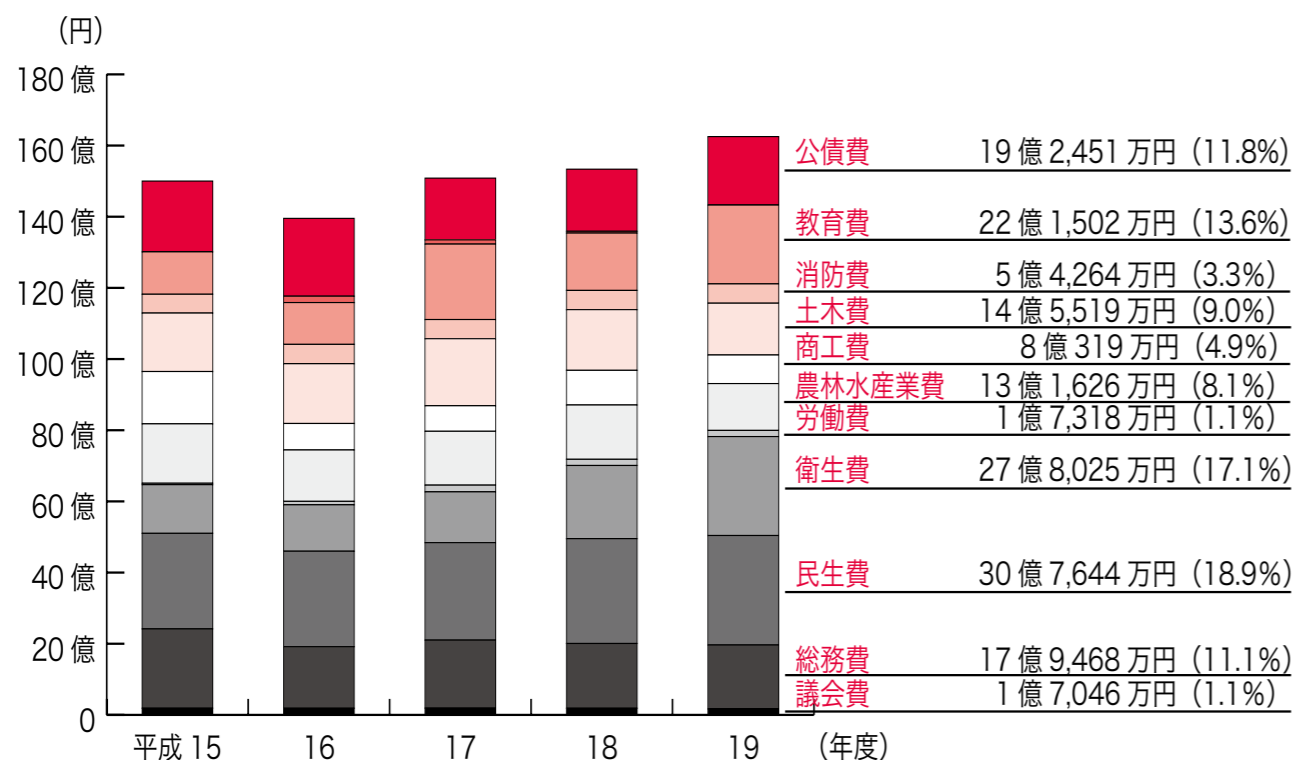
平成 19 年度は「リサイクルプラザ」「小浜小学校」などの大型建設事業の最終年度であったため、同 18 年度と比較して歳入総額は 9 億 4,526 万円の増額となり、歳出総額も 9 億 1,594 万円の増額となりました。歳入総額から歳出総額を差し引いた 4 億 9,867 万円は繰り越し、本年度の財源にしました。

平成 19 年度の決算がまとまりました。小浜市の財政状況が、5 年前からどのように変わってきているのか、グラフを使ってお知らせします。

問い合わせ 財政課 ☎内線 333

一般会計歳出

162 億 5,182 万円



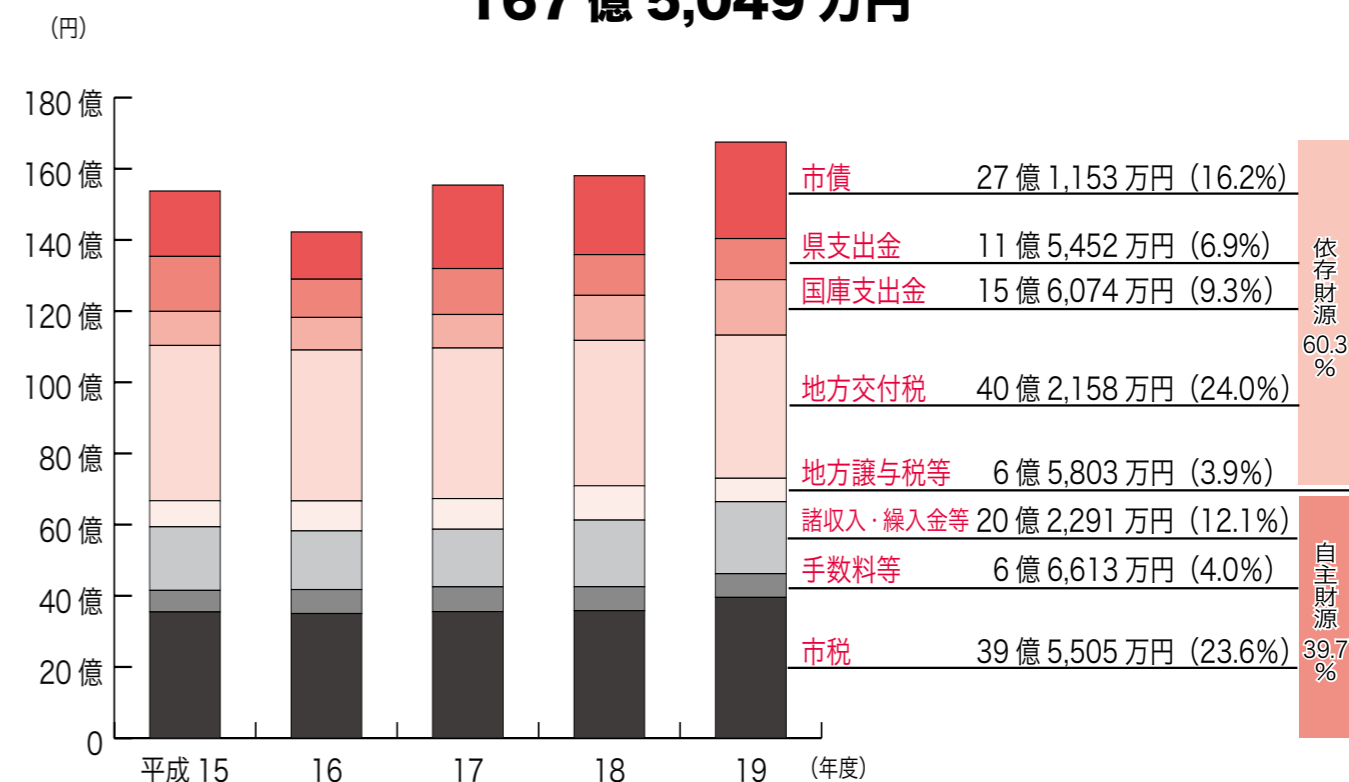
《主なもの》

- **民生費**
障害福祉、老人福祉、児童福祉などに使うお金です
- **教育費**
小浜小学校建設のため平成 17 年度から増加しています
- **衛生費**
病気予防、環境保全、ごみ処理などに使うお金です。リサイクルプラザ建設などのため、平成 18 年度より約 7 億 2 千万円増加しました
- **公債費**
市債（借入金）の返済に使うお金です

一般会計は、三位一体の改革による地方交付税の減少と「リサイクルプラザ」「小浜小学校」の建設が、財政を圧迫した形となっています。これらの建設を含めた大きなプロジェクトは平成 21 年度に完了する見込みですが、借入金の返済が来年度から本格的に始まることから、今後も「行政のスリム化」「支出のダイエツト」に取り組んでいきます

一般会計歳入

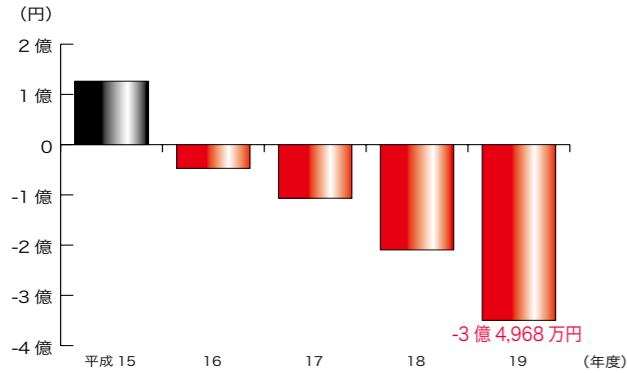
167 億 5,049 万円



《主なもの》

- **市税**
皆さんに納めていただいている市民税、固定資産税、都市計画税など。国の税源移譲で、平成 18 年度より約 3 億 7 千万円増加しました
- **地方譲与税**
国税の一部が一定の基準で譲与されたもの
- **地方交付税**
財政力に応じて国から交付されるもの。平成 18 年度より 6,300 万円減少しました
- **国庫支出金**
市が行う事業に対し、用途を限定して国から交付されるもの。「リサイクルプラザ」「小浜小学校」建設の補助金が増加しました
- **諸収入・繰入金等**
繰入金や受託事業収入、雑入、基金の取り崩しなど
- **市債**
借入金のこと

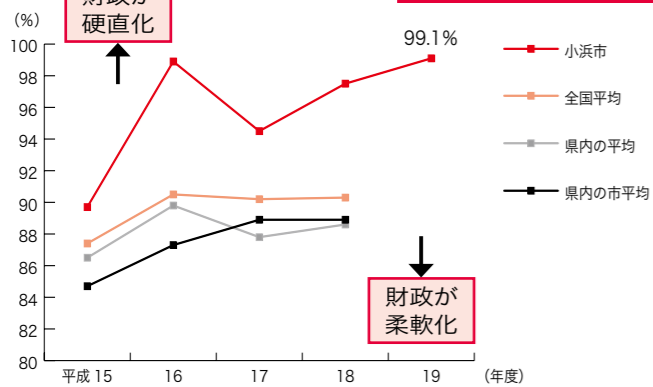
実質単年度収支



実質単年度収支 = 実質収支 - 前年度実質収支 + 基金の積み立てなど - 基金の取り崩しなど

純粋な単年度だけの収支状況を表したもので、基金の取り崩しは、マイナスに働きます。4年連続で赤字になりましたが、これは「リサイクルプラザ」「小浜小学校」の建設のため基金を取り崩したことによるものです。

経常収支比率

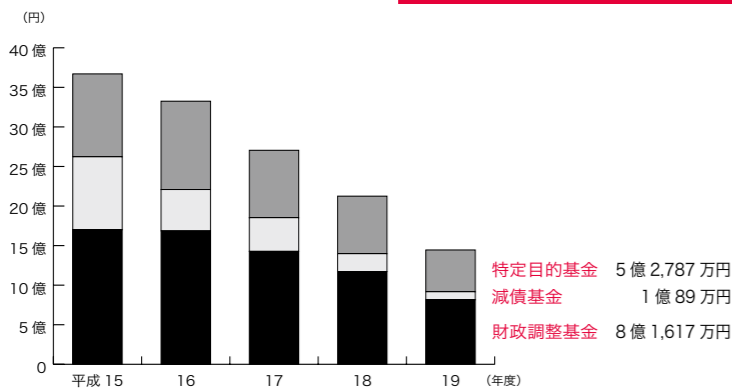


経常収支比率 = 経常的に支出される経費 / 経常的に収入する金額

家計に例えると、住居費、光熱水費など毎月確実に支出される経費が、給料のどのくらいを占めるかを表します。数値が低いほど自由に使えるお金が多くなります。

平成 16 年度に高くなった原因は、借入金の満期一括償還によるものです。同 19 年度に高くなった原因の 1 つは、国の算定基準の見直しによるものです。

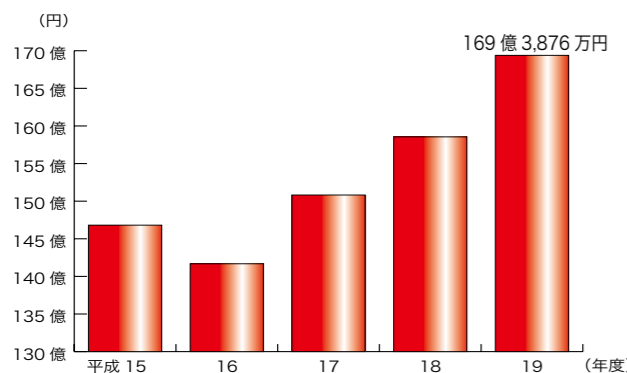
市有財産 (貯金残高)



- 財政調整基金…使い道が決まっていない貯金
- 減債基金…借入金返済のための貯金
- 特定目的基金…使い道がしっかり決まった貯金

平成 15 年度まで「リサイクルプラザ」「小浜小学校」建設などのため、基金を増やしていましたが、建設に着手したため減少しました。

借入金残高 (普通会計)



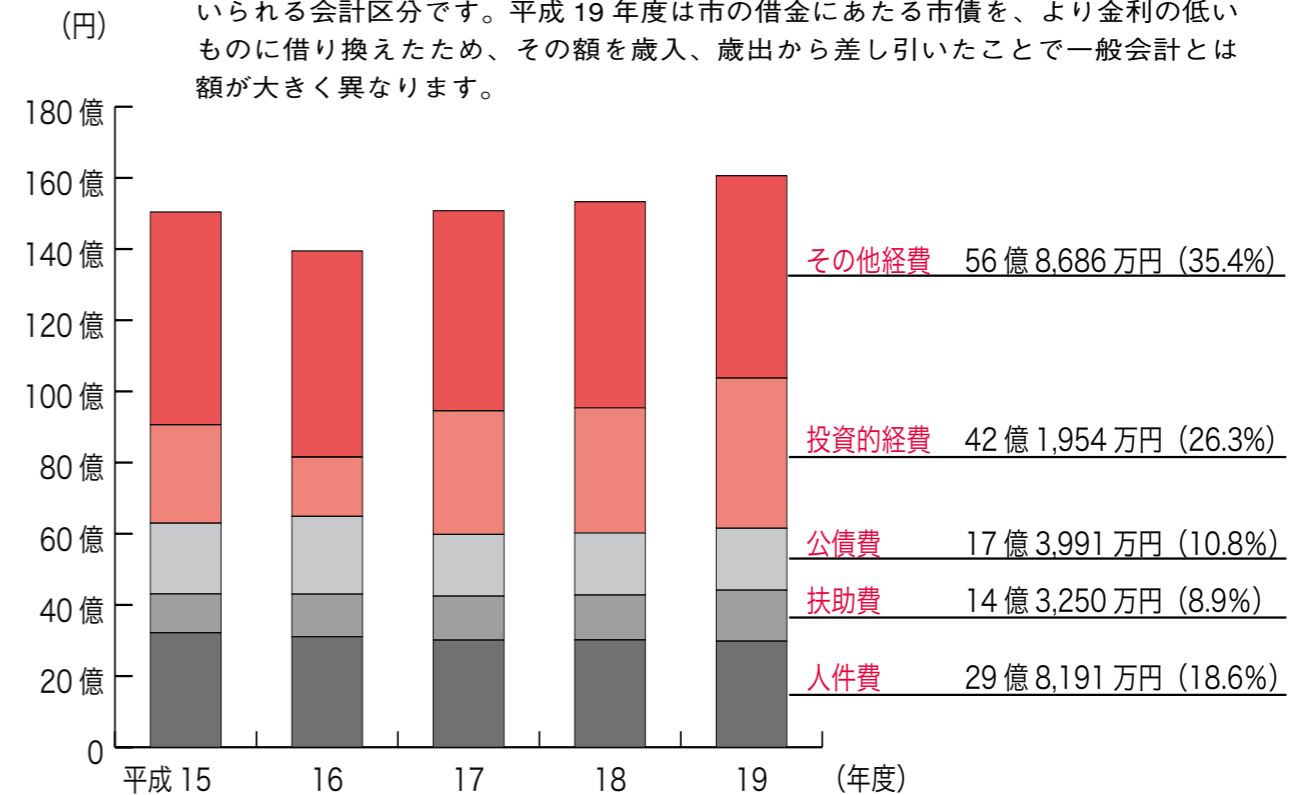
平成 16 年度に大きく減少した原因は、3 億 9 千万円 (同 7、8 年度の借り入れ) を一括返済したためです。

同 17 ~ 19 年度に再び増加した原因は、「リサイクルプラザ」「小浜小学校」建設のために約 31 億 5 千万円を借り入れたためです。

性質別歳出 (普通会計)

160 億 6,072 万円

普通会計とは、全国の自治体の財政比較などを行うために、統計上統一的に用いられる会計区分です。平成 19 年度は市の借金にあたる市債を、より金利の低いものに借り換えたため、その額を歳入、歳出から差し引いたことで一般会計とは額が大きく異なります。



● その他経費

若狭消防組合、公立小浜病院組合などへの補助費が平成 18 年度より約 3 千万円増加しました

その他経費の内訳

物件費、維持補修費、補助費等、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金

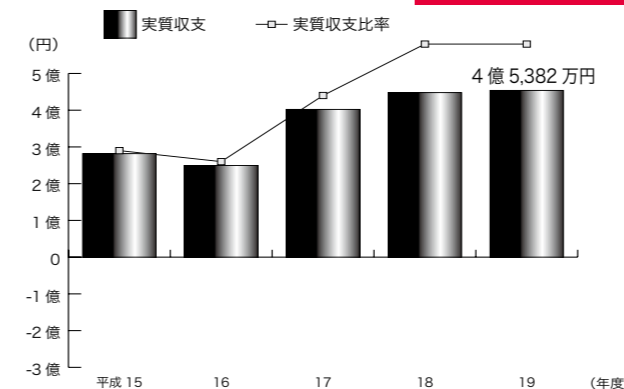
● 投資的経費

道路や施設の建設費です。平成 13 年度以降減少しましたが、同 17 年度以降「リサイクルプラザ」「小浜小学校」の建設のため増加しました

● 義務的経費 (人件費・扶助費・公債費)

平成 18 年度と比べ、人件費が 1.1% 減少、扶助費 (社会保障制度) が 13.6% 増加、公債費 (借入金の償還) が 0.3% 減少し、全体で 2.2%、約 1 億 3 千万円増加しました

実質収支と実質収支比率



実質収支 = 歳入 - 歳出 - 翌年度に繰り越すべき財源

実質収支比率 = 実質収支 ÷ 標準財政規模

平成 21 年度から、実質収支比率が一定以上の赤字になると、国などが関与して財政の健全化を行うこととなります。

小浜市は現在、黒字が続いています。

健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定された財政指標について、平成19年度決算から各自治体において市民に公表することが義務づけられましたので、次のとおり公表します。

実質赤字比率

一般会計の赤字額の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示すものです。この比率が高くなるほど、歳入確保と歳出削減の対応策が必要となります。

小浜市では実質赤字額がないため算定されません。

連結実質赤字比率

一般会計だけでなく、特別会計と企業会計も合算した額で赤字額の程度を指標化して市の財政状況を示すものです。

小浜市では連結実質赤字額がないため算定されません。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
小浜市の比率	—	—	13.3	151.1
早期健全化基準	13.72	18.72	25.0	350.0

※実質赤字比率と連結実質赤字比率については、実質赤字額と連結実質赤字額がないため算定されません

※早期健全化基準を超えると、財政健全化団体となり財政健全化計画の策定が義務づけられます

実質公債費比率

市の借入金返済額と一部事務組合（消防や病院など）に対して市が負担すべき経費を、市税と地方交付税などの合算額と比較して指標化し、その資金繰りの危険度を示すものです。

小浜市は、「リサイクルプラザ」「小浜小学校」建設にかかる借入金の返済が来年度から始まり公債費が増加するため、今後2～3年は徐々に高くなると考えられます。

将来負担比率

市の一般会計の借入金（地方債）や将来支払わなければならない可能性のある負担などを、現時点の残高で指標化し、将来、その負担額が市の財政運営を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

小浜市は、借金の残高が減少していくことにより徐々に改善されると考えられますが、本市以外の組合や第三セクターの経営状況にも左右されるため、その動向にも注視していきます。

資金不足比率

「資金不足比率」とは、公営企業の資金不足を、料金収入などの規模で示される事業規模と比較して指標化し、各公営企業会計の経営状況の深刻度を示すものです。

この比率が高くなるほど料金収入などで資金不足額を解消することが困難になり、当該公営企業としては経営状況に問題があることとなります。

会計名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
国民宿舎事業会計	—	20.0
簡易水道事業特別会計	—	20.0
下水道事業特別会計	—	20.0
農業集落排水事業特別会計	—	20.0
漁業集落環境整備事業特別会計	—	20.0
駐車場事業特別会計	—	20.0

※資金不足比率については、資金不足額がないため算定されません

※詳しくは小浜市公式ホームページをご覧ください

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計とは区別して経理を行う会計です。特別会計では、使用料や保険料などの収入が主な財源になります。

会計名	歳入額	歳出額
国民健康保険事業特別会計	32億1,391万円	30億2,710万円
加斗財産区運営事業特別会計	4万円	2万円
簡易水道事業特別会計	1億856万円	1億319万円
駐車場事業特別会計	3,550万円	2,866万円
老人医療特別会計	30億9,321万円	30億5,541万円
下水道事業特別会計	30億998万円	29億6,610万円
農業集落排水事業特別会計	4億4,422万円	4億3,964万円
漁業集落環境整備事業特別会計	7,022万円	6,656万円
介護保険事業特別会計	25億9,476万円	25億7,546万円

企業会計

企業会計とは、民間企業と同じように事業で得る収益で運営する独立採算型の会計です。

《水道事業》

損益計算書

営業費用	3億1,285万円	営業収益	4億291万円
営業外費用	9,605万円	営業外収益	502万円
当年度純損失	97万円		
計	4億793万円	計	4億793万円

貸借対照表

流動資産	3億8,761万円	流動負債	2,930万円
固定資産	66億3,344万円	資本金	36億5,056万円
		剰余金	33億4,119万円
計	70億2,105万円	計	70億2,105万円

《国民宿舎事業》

損益計算書

営業費用	9,375万円	営業収益	9,301万円
当年度純利益	71万円	営業外収益	145万円
計	9,446万円	計	9,446万円

貸借対照表

流動資産	7,209万円	流動負債	597万円
固定資産	8,984万円	資本金	1億2,982万円
		剰余金	2,614万円
計	1億6,193万円	計	1億6,193万円

小浜市土地開発公社

損益計算書

事業原価	2,354万円	事業収益	2,344万円
販売費・一般管理費	21万円	営業外収益	680万円
事業外費用	513万円		
当期純利益	136万円		
計	3,024万円	計	3,024万円

貸借対照表

流動資産	14億4,995万円	流動負債	2億10万円
固定資産	11万円	固定負債	10億5,340万円
		資本金	400万円
		準備金	1億9,256万円
計	14億5,006万円	計	14億5,006万円

第3セクター

《(株) ケーブルテレビ若狭小浜》

損益計算書

営業費用	3億607万円	営業収益	4億1,780万円
営業外費用	477万円	営業外収益	322万円
特別損失	331万円	特別利益	383万円
法人税等	4,328万円		
当期純利益	6,742万円		
計	4億2,485万円	計	4億2,485万円

貸借対照表

流動資産	1億9,250万円	流動負債	3,280万円
固定資産	1億9,636万円	固定負債	2億321万円
繰延資産	113万円	資本金	4,000万円
		剰余金	1億1,398万円
計	3億8,999万円	計	3億8,999万円

《(株) 小浜市総合卸売市場》

損益計算書

営業費用	1,709万円	営業収益	2,016万円
営業外費用	1万円	営業外収益	40万円
法人税等	111万円		
当期純利益	235万円		
計	2,056万円	計	2,056万円

貸借対照表

流動資産	1,740万円	流動負債	4,673万円
固定資産	1億7,578万円	固定負債	947万円
		資本金	8,000万円
		利益剰余金	5,698万円
計	1億9,318万円	計	1億9,318万円